

県医師会理事会記事

第38回常任理事会

(平成26年1月22日)

平松会長 挨拶



皆さまこんばんは。昨日(1月21日)は、日本医師会で都道府県医師会長協議会と日本医師連盟執行委員会、そして合同新年会がございました。会長協議会では協議事項が7件提出されており、うち2件は日本医師会からの逆提案説明でありました。説明の1件は、社会保障制度改革プログラム法に盛り込まれた新たな財政支援制度の創設で、平成26年度：公費で904億円、これを各県に分配します。これらにつきましては医師会速報で報告させていただきます。また医師連盟では、羽生田先生をはじめ、たくさんの医系議員からご挨拶がありました。

先ほど「医療と倫理を考える会・広島」から私に講演の依頼がありまして、2月20日に「医師会と生命倫理」について講演することになりました。この会の世話人は桑原正彦先生です。この会は広島県医師会の生命倫理委員会とは別組織として2000年4月に代表・福原照明前県医師会長(当時)で発足しています。

生命倫理委員会の委員の多くは医師会の会員であり、一部有識者が入っておられますが、医療サイドから考える「倫理」を自由な発想で協議する場を広島に設けては、と自然発生的に「医療と倫理を考える会・広島」が発足しました。

医療と生命倫理の問題はあまりにも奥が深く、どのような内容を話すべきか考えていましたが、昨日帰りの新幹線で偶然に桑原正彦先生と同席することになりまして、桑原先生からは「気楽な会ですから自由に話して下さい」と言ってくれました。その資料を探していたところ、最近「生命倫理(2000年)」という本を見つけました。筆者は中山 愈先生という広島女子大学の文学部教授で、郷土の著者で親近感が湧いたのですが、ざっと目を通しただけで、まだ熟読していませんが古いけれども良い内容です。

この本は古本屋で105円で購入しました。格安で嬉しい限りなのですが、古本によくある汚れ

があるのです。しかし今回の汚れは前の持ち主が緑の蛍光ペンで線を引いているのです。そして頁の下方に自分なりの纏めや解釈も書き込んであるのです。それが非常に綺麗な字で書いてありまして、私としては安いし纏めもあるしと、至れり尽くせりの本でした。これを早く読んでみようと思っています。

さて、日本医師会の「医の倫理綱領」は6項目にわたって書かれています。これも皆さんと一緒に見直してみたいと思いますが、まずは広島県医師会の生命倫理委員会活動がどこで終わったのか。詳しくは分かりませんが、改めて「広島県医師会のあり方委員会」におきましても、この「医の倫理」に関して話し合いたいと思います。

広島県医師会の歴史をまとめた医師会史が二冊出ておりますが、その中に「医の倫理・医事紛争関係」という記述があり、参考にさせていただきました。医師会活動として、当然あるべき「医の倫理」の検討の、まずは小さな一歩を踏み出してみたいと思います。

協議事項

- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (平川常任理事) 25件、原案どおりすべて承認
- ・広島拘置所視察委員会委員候補者の推薦の件 (温泉川常任理事) 温泉川常任理事を推薦
- ・広島刑務所視察委員会委員候補者の推薦の件 (温泉川常任理事) 桑原副会長を推薦
- ・広島県ユニセフ協会理事の継続就任の件 (温泉川常任理事) 平松会長が継続就任
- ・広島県医師会員への「広島交響楽協会サポート会員入会お願い」周知の件 (温泉川常任理事) 広報情報課にて調査して周知
- ・東広島地区医師会主催講演会補助金の件(第372回、373回合同カンファレンス・第238回整形外科オープンカンファレンス) (水野常任理事) 補助を承認
- ・医師共済会休業見舞金・死亡見舞金支給の件 (水野常任理事) 規約どおり承認
- ・第103回日本病理学会総会市民公開講座後援の件 (温泉川常任理事)

後援を承認

- ・平成25年度全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会会費の件 (大谷常任理事)
会費納入を承認
- ・地域受付審査局(LRA)設置の件 (牛尾常任理事)
広島県医師会を主軸とし、市郡地区医師会の協力をお願いすることとし、LRA整備を進めることで設置を承認
- ・HMネット契約書・注文書の件 (牛尾常任理事)
契約・注文を承認
- ・情報関係・医療事故関係リプレスの件 (牛尾常任理事)
医療事故特別委員会データベースサーバーの老朽化、公文書デジタル管理システムの一部の使用に支障が生じたこと、県医師会事務局ファイアウォール機器の老朽化のためこれらの機器について協議し、リプレスを承認

報告事項

- ・1月15日、第2回広島県後期高齢者医療広域連合運営審議会 (檜谷副会長)
平成26年度国保の負担金などを協議した。
- ・1月16日、病床機能報告制度・地域ビジョン等の説明会 (檜谷副会長)
病床機能の報告および、制度などを協議した。
- ・1月15日、広島医学編集委員会 (平川常任理事)
67巻2号以降の掲載原稿について掲載採否および編集(原著4編、症例報告5編、医学会総会補修講座5編、再査読症例報告2編、再査読補修講座1編、の計17編)について協議し、うち2編を採用とした。
- ・1月17日、広島県医師会ソフトボール大会世話人会(第3回) (水野常任理事)
アンケートなどについて協議したほか、平成26年度の開催日を平成26年10月12日(日)とした。
- ・1月17日、高精度放射線治療センター(仮称)整備推進委員会医療ワーキング医療情報ネットワークシステム検討会議 (牛尾常任理事)
画像情報ネットワーク事業および4基幹病院ヒアリングなどを協議した。
- ・1月17日、広報委員会 (小笠原常任理事)
12月25日号~1月15日号の評価、1月25日号~2月15日号トップ記事の企画・編集、ビデオスケジュール、速報・広告掲載、NHKラジオ番組生出演スケジュール、イメージキャラクターの着ぐるみなどについて報告・協議した。
- ・1月18日、日本医師会認定健康スポーツ医再研修会(福山会場) (小笠原常任理事)
講演は昨年10月実施した広島会場と同様、「生活習慣病とAnti-Aging Science-運動の視点から」と題し、福岡大学基盤研究機関身体活動研究所所長 田中宏暁氏にお願いした。参加者は34名。
- ・1月19日、日本医師会医療事故防止研修会 (牛尾常任理事)
平成25年12月に平成24・25年度日医医療安全委員会の実践報告として「成果が見える医療安全を目指して」を主題とする答申が提出された。今回の研修会は、その答申に基づき、各地での医療安全の取り組みが紹介された。
- ・1月20日、勤務医部会医療クラークWG (山田常任理事)
今後の活動方針について協議を行った。医療クラークを含め、勤務医師の負担軽減につながる看護助手等の職種について総合的に理解を深めるため、専門家に話を聞く機会を設けることとした。
- ・1月20日、損害保険医療協議会・労災自賠責委員会 (小笠原常任理事)
今年の方針について、昨年を引き続いて3者(損保会社、損保料率機構、県医)互譲の精神で行うことを確認し、時事の話題について情報交換を行った。
- ・1月21日、特定健康診査等に係る集合契約の打合せ (大谷常任理事)
平成26年度の特定健診・特定保健指導の集合契約を結ぶにあたり、社保・国保の代表保険者と打合せを行った。国の指針に沿って、次年度の契約内容や契約までのスケジュールについて情報共有を図った。
- ・「HMネット」作業完了報告 (牛尾常任理事)
開示16病院の補助完了